

令和 7 年度 結果の分析及び今後の改善策(案)

( 中間・最終 )

蒲刈中学校区 校番31 学校名 呉市立蒲刈小学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
***	<p>学んだことを実際の社会や生活で生きて働かせ、自分の意見をもち、自分の言葉で表現できる児童生徒の育成</p>	<p>知識及び技能の確実な定着</p> <p>【貫】自己表現できる力の育成</p>	<p>■国語…漢字・語句:個に応じて下学年から振り返り、漢字ドリルタブレットやキュビナを効果的に活用できた。</p> <p>■算数…キュビナで予習・復習。苦手な児童はキュビナも取り組みにくい内容があった。</p> <p>◎家庭との協力により、家庭での予習・復習が定着しつつある。</p> <p>(1・2年)各授業で、自分の考えにはその理由を添えて発言する指導を行った。班学習の継続により、一人一人の説明力がついてきた。分かわからない部分に質問する姿も一部で見られるようになった。</p> <p>(3・4年)思考ツールや話型を示した思考スキルを活用し、理由などを書かせたり言わせたりした。</p> <p>(5・6年)◎見守り型支援の授業づくりをした。</p>	<p>□漢字や語句が苦手な児童には、スモールステップ(小さな成功体験)で漢字の定着を図る。</p> <p>□個に応じて、苦手な児童にはワークブックを基礎と応用に分ける。内容や理解度に応じた時間設定を大切にして授業づくりをする。</p> <p>□高学年では、学びの方法の見直し、キュビナの活用頻度を増やす。</p> <p>○学びのステップを低学年でも活用しながら、思考ツールや話型を習得する。</p> <p>○子どもの力を引き出し、課題解決のするために必要な「助言や価値づけ、切り返し」をする能力を向上させる。</p> <p>○振り返りの質を上げるために、拠り所となる板書を充実させたり、その視点を意識しながら授業を進めていく。</p>
**	<p>困難な状況にも臆することなく挑もうとする児童生徒の育成</p>	<p>【貫】自己肯定感や挑戦する力の向上</p> <p>自己の生き方を考える力の育成</p>	<p>「学校は間違えるところ」を合言葉に学級経営を行い、肯定的なフィードバックしたことで、前向きに取り組む児童が増えた。また、算数科等であえて間違いを消さずに残しておくなど「できない→できる」の足跡をノートに残させる取組にも一定の効果があった。その一方で、一部の児童が自己肯定感等が低いため、引き続き個別の声かけが必要である。</p> <p>計画に沿って災害別の避難訓練を行い、ハザードマップやマイタイムラインなどを活用しながら自分の避難場所を自信をもっていえるようになった。また、総合的な学習の時間や道徳の時間と関連付けながら、防災について教科横断的に指導をすることができた。</p>	<p>教職員・児童生徒が防災についての共通認識をもてるような安全教育や小中合同避難訓練を継続する。また、防災について各種通信で周知したり防災マニュアルを携帯させたりするなどして、家庭と連携した防災意識作りを行う。</p> <p>教師の声掛けが児童の自己肯定感に大きく関わるため、適切な褒めと叱りについての校内研修を行い、教師の声掛けの質をより一層高めていく。また、挑戦することの価値を教職員間で共有し、今後も日々の授業で学習リーダーなどの挑戦の経験を積み重ねさせる。</p>
*	<p>安心と安全な教育環境づくり</p>	<p>働き方改革の推進</p> <p>いじめ防止の徹底</p>	<p>業務の精査の促進[校務分掌の見直し職員室等のレイアウト変更、下校時刻の変更等]により、時間と空間を有効に活用することで、時間外勤務が月45時間を超えない教職員の割合が100%とすることができた。働き方改革の推進に機能したと考える。</p> <p>ICT活用による情報共有等、「教職員の強みや得意分野」の活用を通して、互いに学び合う教職員集団や業務を協力して行う体制づくりの構築が実現した。これにより、日々の業務の中で充実感を得られていると感じている。</p> <p>毎週末に「暮会」をもったり、必要に応じた臨時職員会を設けたりして、情報共有を行うことで、児童理解の場につながるなど、常態的・先行的生徒指導の充実を図ることができた。</p>	<p>今後も、時間と空間を有効に活用するために、新たな業務の精査の促進を図る。</p> <p>教職員の同僚性や専門性を高めるために、情報共有や連携・協働する教職員集団の構築を図る。</p> <p>児童理解について、多様な視点からの研究等を通して、「見通し・取組・振り返り(A・A・R)」サイクルを積み重ねる、省察的实践に心がける。</p>